

TACE（肝動脈化学塞栓療法）における ICTを活用した血管造影室と薬剤部との多職種連携

(情報通信技術)

TACEとは

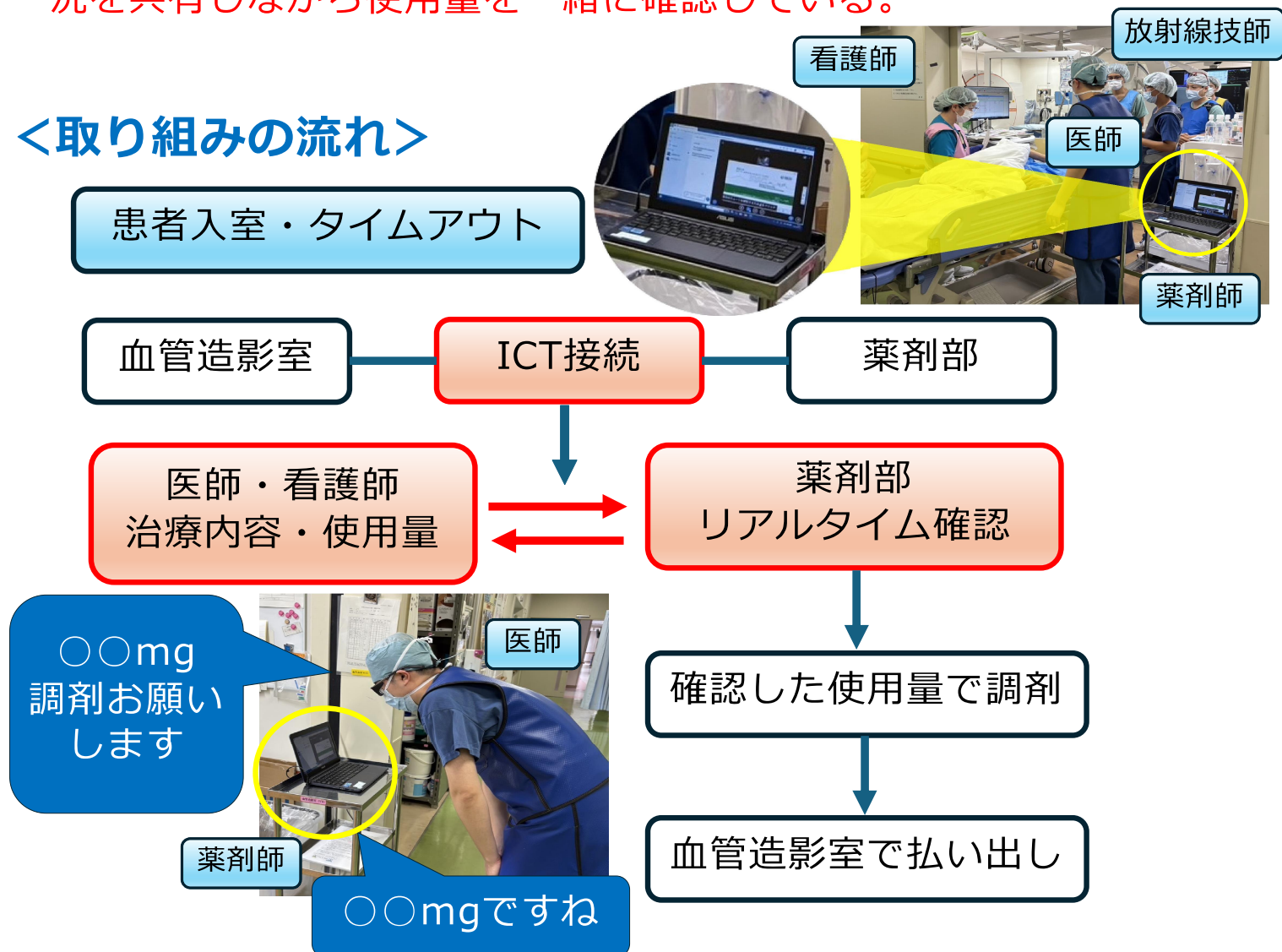
救命救急センター（血管造影室）

肝細胞癌（HCC）の栄養血管である動脈を選択し、抗がん剤と塞栓物質を注入することで、血流を遮断し、組織を壊死させる治療法

血管造影室では、医師・看護師・放射線技師・臨床工学技士など多職種で患者さんの情報や治療方針を共有しながら治療を行うが、**抗がん剤を安全に使用するには、薬剤部との連携は欠かせない。**

TACEでは、治療時の所見や状況に応じて抗がん剤の使用量が決定する。そのため、**ICTで血管造影室と薬剤部をつなぎ、お互いの状況を共有しながら使用量を一緒に確認している。**

<取り組みの流れ>



<取り組みの効果>

- ICTを活用したリアルタイムな情報共有により、情報伝達の過程をよりシンプルにし、認識のずれや伝達のエラーを防止することにつながる。
- 抗がん剤の安全な使用を多職種が同じ情報を共有し、互いに確認できる仕組みとして定着化している。